

「ツーリズム EXPO ジャパン 2017」への参加

2017年10月26日

広報担当 柴崎パメラ

モルドバジャパン広報担当の柴崎パメラです。父がモルドバ人で、私自身はモルドバ渡航歴たった1回の、2歳半からずっと日本育ちの大学生です。

9月21～24日までの4日間、東京ビッグサイトにおいて世界最大級の旅の祭典ツーリズム EXPO2017が開催されました。これには全国47都道府県、130か国・地域、1310の企業・団体が参加し、来場者数は191,577人（10月3日確定数値）を記録するなど、大変な賑わいを見せました。私はモルドバジャパンの一員として、モルドバジャパンTシャツを着て、9月23日の1日だけ、モルドバブースのお手伝いに行かせて頂きました。

さて、モルドバからはワインの輸入会社であるA社と観光会社であるT社がモルドバブースに出展しました。A社は来場した方々へワインの試飲や販売も行い、Vartely TRABOSTE という辛口の赤ワイン、濃厚で甘口のデザートワイン KVINT Cagor 2015 などが人気を集めていました。モルドバという国名自体、聞いたこともないという方もたくさんいらっしゃいましたが、ヨーロッパワイン発祥の地と呼ばれるモルドバワインの存在感とその美味しさをしっかりアピールできたように思えます。



一方、T社はモルドバとその周辺国を巡るツアーの提案や、モルドバってどこにあるの？どうやって行くの？どんな食事、街並み、文化なの？などなど皆様の素朴な疑問にも丁寧にお答えしていました。モルドバなんて聞いたこともない！という方ももちろんいらっしゃいましたが、そこはさすがツーリズム EXPO。いるんです、ああ、モルドバね、聞いたことはあるよという方。次はぜひモルドバに行きたいと思っていたんだよ～という旅行大好きな方。そしてモルドバ料理が大好きで亀有にあるモルドバ料理店に足繫く通う方。意外にモルドバも知名度あるんだな～と、話に加わっていた私はルンルンでした。やはり、自分のルーツである国が多くの方々に知ってもらえて、好きになってもらえるのは非常に嬉しいことです。その後も、T社の方と日本人の来場者の方の間で通訳をしながら、モルドバの魅力をお伝えしまくりました。自然豊かな田舎の風景、おいしい食事、(特にスイーツやアイスは絶品です)、おいしいワイン(ギネスブックにも載っている貯蔵量世界最大の地下ワイナリーはモルドバにあるんです！)、温かい国民性、美しい民族衣装やゆったり時間が流れる街の公園、美しい教会などなど、私が今年の夏にモルドバに行って感じてきたことを沢山お話ししました。中には、モルドバの情報をこうやって日本語で教えてもらえる機会は今まで無かったから、すごく有難かったよ、来てよかった。とおっしゃってくださった方もいて、モルドバ行っというて良かったー！というか私が今日来てよかったー！と、もう嬉しくて嬉しくて、まともやルンルンになってしまいました。

モルドバを通して多くの来場者の方や出展者の方と交流が出来、モルドバジャパンのアピールもしっかりやり遂げ、本当に充実した素晴らしい一日になりました。



会場の様子 (出典：ツーリズム EXPO ジャパン facebook)